

ののうち

ののうちのまこと VOL.16

発行：ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより— July

発行日:2015年7月30日

最近の活動から

臨時議会で役職の変更がありました

5月13日、臨時議会が開会されました。議員任期4年の真ん中で、今後2年間の議会構成が議題でした。その結果、議長に山本勝太郎議員が当選し、副議長に森脇幸好議員が当選しました。また、常任委員会や特別委員会の構成、その正副委員長も決定されました。

野々内は、総務委員会副委員長、宍道湖・中海問題等対策特別委員会副委員長、議会広報等特別委員会委員に選任されました。

議会報告会

今年度の議会報告会は、試みに5会場で開催。野々内は6月5日の玉湯公民館が担当でした。約20数名に参加していただいた報告会に、6人の議員が望みました。市予算の概要報告の後、野々内は「松江市自転車安全利用条例」を説明し、議員による初の政策条例制定を報告しました。その後、質疑応答や意見交換を行い、複合施設の今後の計画、観光客駐車場の増設、人口減への対策、自転車条例に罰則はないのかなど、多面にわたる意見や質問が出されました。



自転車マナーアップの街頭指導

5月20日の朝、市内25箇所です「自転車マナーアップ街頭指導」が一齐に行われ、野々内は東出雲町の東出雲交番前の国道9号線に出かけました。

春の全国交通安全運動の一環として、自転車の安全利用の推進を図るために実施されるもの。一般の皆さんや高校生の皆さんより児童・生徒の皆さんの通行が圧倒的に多かったのですが、マナー違反の人は見当たらず、一安心でした。



自転車は安全に乗りましょう

各種研修に出かけています

国の制度改正内容や新たな知識の習得のため、直接出向いて専門家からのお話を聞くことは重要です。5月末には東京でスマートアグリや地方創生についての最先端のお話を国担当者から直接学びました。また、7月中旬は山口県で地産地消の先例事例、水素活用構想を学びました。

7月下旬も東京で都市再生特別措置法改正案や地域再生法の一部改正案について、国の担当者から考え方を聞きました。今後の議会活動に活かします。



東京での研修風景

祝 国宝松江城 正式決定!

5月15日に国の文化審議会が開催され、松江城天守を国宝に指定するよう下村文部科学大臣に答申されていましたが、7月8日、官報に松江城天守の国宝指定が告示されました。五城目として63年ぶりの天守の国宝の正式決定は、誠にめでたいことですね。

決定に至ったのは、平成24年に発見された祈祷札で完成年代が確定したことで、近世城郭の最盛期を代表する建築物として高く評価されたものです。この裏で、市では調査研究を強力に推進すると共に、建築史家として著名な神奈川



大学名誉教授の西和夫先生(平成27年1月没)の学術的見地からの国宝化への働きかけも大きな力となりました。松江市議会でも「松江城を国宝にする松江市議会議員連盟」を組織して、研修や国宝化への働きかけをしていました。12万人余の署名活動に応じた市民・県民にとって悲願であり、長年の思いが成就しました。

8月29日には国宝記念式典が開催され、併せて松江開府の租、堀尾吉晴公の出生地の愛知県大口町との姉妹縁組提携も結ばれる予定です。

今後は国の宝として、市民や県民が丸となって、保存や活用に取り組んでいきたいものです。

松江城の国宝指定に関連した予算を可決 6月松江市議会

7月3日、松江市議会6月定例会が17日間の会期を終えて閉会しました。

6月市議会では、個人情報保護条例の一部改正や松江総合運動公園の管理

を指定管理者に行わせるための条例改正、エコクリーン松江の本格稼働移行に伴いごみ焼却工場から南工場・北工場を廃止するなどの条例案のほか、補正予算では、一般会計で4億8134万円を計上し、松江城国宝指定に伴う観光振興事業(誘客事業、インバウンド対策、歴史

館特別展)に5156万円余、記念事業(シンポジウム、式典、祈祷札のレプリカ作成)に3353万円を計上、臨時福祉給付金事業に3億9424万円余が計上され、提案された議案は全て議決されました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

9月議会予定

9月9日(水) 本会議(委員長報告、討論・採決・提案説明・決算特別委員会設置) 決算特別委員会(正副委員長互選)

14日(月) 一般質問
15日(火) 一般質問

16日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託

17日(木) 決算特別委員会(質疑、分科会委託)

18日(金) 総務委員会・決算特別委員会総務分科会 教育民生委員会・決算特別委員会教育民生分科会

24日(木) 総務委員会・決算特別委員会総務分科会 教育民生委員会・決算特別委員会教育民生分科会 建設環境委員会現地視察

25日(金) 経済委員会・決算特別委員会経済分科会 建設環境委員会・ 決算特別委員会建設環境分科会

28日(月) 経済委員会・決算特別委員会経済分科会 建設環境委員会・ 決算特別委員会建設環境分科会

10月1日(木) 決算特別委員会(分科会長報告・質疑・採決)

6日(火) 本会議(委員長報告、質疑・討論・採決)、閉会

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.16を発行いたしましたので、ご高覧いただけますようお願い申し上げます。

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在64歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選



↑ ホームページ、ブログはこちらから

一般質問

野々内は、6月定例市議会でも連続15回目の一般質問を行ないました。

Q 共創のまちづくりについて

現在、本市の「共創のまちづくり」は、NPO法人や団体の活動が主になつていくように感じます。集団から個に広げられることも大切です。そのためにも、一般市民への意識の浸透と、その上に立った協力が欠かせませんが、取り組みの現状と、課題や問題点を伺います。

田中市民部長 市民の皆さんはもとより、市職員でも意識の浸透はまだまだ十分とは言えない状況です。ふるさと松江への愛、誇りを原動力に地域課題の危機感を共有し、息の長い地道な取り組みを継続したいと考えています。地域団体は、担い手不足が深刻な課題となつています。市職員も居住地域の二住民であり、積極的に地域活動に参画、参加するよう呼びかけています。

護保険の2割負担者が8月から始まりますがその影響と、高額介護負担額も8月から引き上げられますが、その影響を伺います。

井田健康福祉部長 3月の利用実績で試算すると、利用者負担の2割となる対象者は、サービス利用者のうち8・4%。2割負担は、合計所得金額160万円以上の方が対象、単身で年金収入のみ280万円以上の方が対象です。給付費への影響は1年間で試算すると、約1億3,000万円程度の低減となる見込みです。

高額介護負担額の引き上げは、医療保険が現役並み所得に相当する383万円以上の収入のある方は、月額4万4,400円に引き上げられるものです。影響は、2割負担に引き上げたものと含めて、年間約1億3,000万円の給付の低減となる見込みです。

②介護保険給付費適正化のために、どの程度施設や居宅事業所の計画指導の実地指導をし、その指導結果はどうなつていますか、また課題はなにかを伺います。
井田健康福祉部長 実地指導は、各事業所毎に概ね3年に1回のサ



Q 島根大学生物資源科学部の試験農場を中海干拓地に誘致をすることについて

我が国の農業は、地域社会の維持・活性化に大きな役割を担う反面、大胆かつ抜本的な改革で農業の競争力向上と成長産業化を図ることが急務となつています。国の施策に呼応した農業の取り組みに連動するため、人材を育成することが課題です。島根大学生物資源科学部の試験農場を中海干拓地に併設する要請を島根大学に行う考えはありませんか。

矢野産業観光部長 揖屋干拓地は全体面積が約202.8ha、そのうち約14haの作付け休閑地の有効利用が課題です。
議員ご提案の島根大学の試験農

イクルで実施しています。平成26年度は429事業所のうち121事業所を対象に行い、そのうち94事業所に指摘を行いました。指摘内容は運営上軽微なもののみで、その改善への対応をしていただいています。課題は、年々増加する新規の事業者への厳正な実地指導です。

Q 介護保険事業と障がい者福祉事業の連携について

①障がい者が生活介護等を利用するために、介護保険法に基づく指定小規模多機能型居宅介護事業所を利用できないか伺います。出雲市は特区で可能にしています。
井田健康福祉部長 事業者や当事者の意見を聞き、また他自治体の例も参考にしながら、検討したいと思つています。

②共同生活援助事業所に入居する障がい者が、特別養護老人ホームへ入居する条件を伺います。
井田健康福祉部長 国からは特例入所には市町村の適切な関与が必要とされていますが、具体的な指針がまだ示されていません。入所判定

場としての利用や、本年度から本市が産官学と金融機関で取り組んでいるスマート農業推進の実証実験の場としての可能性もあると考えています。今後、島根大学を始め関係機関を含めて協議を行いたいと考えています。



キャベツの収穫 中海干拓地

Q ものづくりアクションプランの施策展開状況について

①松江市のものづくりアクションプランは平成24年10月に策定され、この計画に盛り込まれた振興策に、各企業からは大きな評価と期待の声があると伺います。各企業は振興策に注目していますが、この計画の進捗状況を伺います。
矢野産業観光部長 この2年間の松江産業支援センターの取り組みを振り返ると、企業訪問は計画の5倍、伴う個別相談件数も計画の3倍となつています。アクションプランに掲げている企業力向上、販路開拓、製品開発につながっているものと

に当たっては、透明で公平な運用を考えています。

Q JR東松江駅周辺の開発整備について

JR東松江駅を積極的に活用するように、馬潟工業団地に直結し錦新町等の市民も利用できる北側入口と北側広場の整備を図るべきです。また、線路を横断する幹線道路の新設を計画すべきです。加えて、駅南側に幹線道路整備を含めた土地区画整理事業等の開発、パークアンドライド(駅駐車場)を計画して、地域振興を図るべきだと考えます。

安田歴史まちづくり部長 北側広場を含めた駅周辺整備や線路を横断する幹線道路を整備するには、駅周辺の土地を所有するJRや関係事業者との調整が必要不可欠

と考えています。一方、駅南側は農用地区域となつており、土地区画

整理事業の都市的な土地利用



JR東松江駅

思つています。

今年度は、次期アクションプランの改定作業を進めており、企業ニーズや社会情勢等を反映した、より使い勝手のよいプランになるよう考えています。

②地元の農機メーカーの三菱農機が、インドの農機・自動車メーカーのマヒンドラ&マヒンドラ社と資本提携すると5月21日に発表されました。三菱農機本社周辺に約20社の協力会社が生立し、地域産業や雇用に大きく貢献しています。この提携による影響をどのように考えているのか伺います。

松浦市長 三菱農機の海外市場への販路開拓による企業活動の維持拡大の方針が示されましたが、協力会社への発注量維持の方針を表明され、地域への影響に対して大変な配慮をいただいていると思つてい

Q 介護保険の制度改正について

①新介護保険事業計画では、介護用は考えていません。また、駅敷地内には月極駐車場が21台分確保されており、さらに必要であればJRと協議したいと考えています。

Q 本市の観光の振興について

①茶会でお世話する方々は年配の方が多く、やがて立ち行かなくなると聞きました。後継者の育成を図る考えがないのか伺います。

錦織観光事業部長 昨年3月に発足した島根県茶道連盟と連携をとりながら、茶道の普及と後継者育成に努めていきたいと思つています。

②松江観光大使は知名度がない方にはお願いできないという。観光大使に代わる民間大使等の任命制度を考えてはどうかと思つています。
錦織観光事業部長 観光大使は一定の基準で任命していますが、松江大ファンの方々の思いを生かすことは非常に大切です。情報を発信してもらおう仕組みを研究したいと考えています。

(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)